

あさひの日だまり



令和8年 6月 17日 (水)

NO. 7

辰野町立辰野東小学校 文責 大槻

～祖父母参観、ありがとうございました～

6月12日(金)に、**祖父母参観日**がありました。多くの皆様にご来校いただき感謝申し上げます。子どもたちは、朝から私に「今日はおじいちゃんおばあちゃんが来るんだよ!」と教えてくれ、ご祖父母の皆様が来てくれるのを心待ちにしていました。



かがきらかフェも大盛況!



おじいちゃんおばあちゃんの前で発言 ちょっとドキドキ



6年生家庭科は、一緒に取り組む場面も



金管バンドとコールドリームの演奏はたくさんの方が聞きに来ていただきました



参観日の後、皆様とお話する機会をいただきました。以下は、その際の内容です。ご一読いただけますと幸いです。

本日は、祖父母参観にご来校いただき、また、校長との懇談の時間にも足を運んでいただきまして、感謝申し上げます。お孫さんたちの学校での様子は、どうだったでしょうか?学校ならではの表情だったのではないかと思います。子どもたちは子どもたちの社会の中で、自立し、成長しています。いつもとは違う、少し逞しい子どもたちの表情や姿を、こういった機会に皆様に見ただけのこと、私たちも大変うれしく思います。

子どもたちは、今日、おじいちゃんおばあちゃんが学校に来てくれることを、大変楽しみにしていました。しかしながら、参観日は参観日。少し緊張した面持ちもありました。そこで、今日は久しぶりに皆様にも学校の授業の雰囲気味わっていただきたいと思います。これから私がクイズを出しますので、正解だと思うものに手を挙げて下さい。急にドキドキしてきましたか?手を挙げるって緊張しますよね。お孫さんが今日の授業中、手を挙げていたら、よく頑張ったとほめてあげてください。手を挙げていなかったら、よく話を聞いていたね、とほめてあげてください。それでは、いきます。



クイズです。みなさんは「年寄りっこは三文安い」という言葉を聞いたことがありますか?どういう意味でしょうか。次の①～③から選んで手を挙げて下さい。

裏面へ

クイズ



- ① 祖父母に育てられた子は、甘やかされて育つから、わがままで
- ② 祖父母に育てられた子は、給料は三文だ
- ③ 祖父母に育てられた子は、おこづかいを少ししかもらえない

お孫さんたちの日々の頑張り、ご自分が学校にいた頃味わっていたドキドキ、少し感じていただけたでしょうか。子ども達、学校で本当によく頑張っています。それでは、クイズの答えです。正解は、①の「祖父母に育てられた子は、甘やかされて育つから、わがままで」です。あまり好ましい表現ではないですね。

さて、なぜ私はこんなクイズを出したのでしょうか。

実はですね、この言葉は、私自身が子どもを産んで、育児休業から復帰したときに、同僚の先生から言われた言葉です。まだ幼い娘と息子の面倒を祖父母にお願いして職場に復帰したものの、心の中ではもっとそばで子どもを見ていたいと思いながら仕事をしていた時に、まさかの同僚から投げかけられた言葉でした。私は中学校でずっと担任をしていたので、クラスの生徒のために譲れないこともたくさんありましたが、我が子の面倒を親がきちんと見なければならぬという想いももちろんあったので、かなりショックでした。でも、私の父と母は子煩悩で、とにかく孫がかわいくて仕方ないという人なので、両親の肩を借りて頑張ることにしました。

今、娘は高校生、息子は中学生ですが、**祖父母のことが大好きな、心やさしい子に育ってくれている**と思います。仕事が忙しい私に、文句の一つも言っておかしくない年頃ですが、仕事に関しては何も言いません。祖父母のことも大事にしてくれます。それはひとえに、おじいちゃんおばあちゃんが本当にかわいがって育ててくれたからこそだと感謝しています。「年寄りっこは三文安い」どころか、**三文も、三両も高くなった**と思っています。

佐々木正美氏の著書『子育てのきほん』によりますと、「おばあちゃん子」「おじいちゃん子」は、父母はもちろん祖父母からも多くの関わりを受けるため、抱っこをしてもらったり声をかけてもらったりする機会が自然と増えます。親でも祖父母であっても、大人が手をかけて育てた子どもは、人との関わりに安心感をもちやすいと述べられています。また、京都大学大学院の木原雅子先生による、いじめや性の問題、万引き、自傷行為といった子どもたちが抱える問題の背景に関する調査が紹介されており、高校生を対象に行ったその調査によると、親や周囲の大人から大切にされていると感じられるかどうか、万引きや自傷行為などの経験と関連していることが示されているのだそうです。このことから、子どもたちが**「大人に大切にしてもらった」「自分は大切にされている」経験は、自己肯定感を育み、自分自身を大切にしようとする気持ちにつながる**と考えられます。

子どもたちがなにをもって「大切にされた」と感じるのかは、人によって違うと思いますが、親でも祖父母でも、学校の先生でも、身近な大人から子ども自身が「大切にしてもらった」「大切にされている」と感じられることが、子どもの成長に欠かせないことだと思います。おじいちゃんおばあちゃんが、今日こうして、お孫さんのために学校まで足を運んでくださったこと、家に帰ってきたら、もしくは電話でも、よく頑張っていたね、と声をかけてくれること、**皆様が子どもにかけてくださる愛情が、子どもをまっすぐ成長させるための礎になることは間違いありません。大いにほめ、大いにかわいがってください。**それができるのは、**おじいちゃん、おばあちゃんの特権**です。おじいちゃん、おばあちゃんに可愛がられて大切に育てられた子は、三文、三両高い子です。私自身は、そのことを子育ての中で実感しています。



コロナ禍もあり、「祖父母参観日」が行われている学校が大変少なくなっている昨今ですが、本校ではこの参観日が設定されていて校長としては嬉しく思っています。それは、私自身が祖母に可愛がってもらって大きくなったからです。お時間もありますので、またその話は来年の祖父母参観日にとっておきたいと思います。通常の参観日はもちろん、各行事にはまたぜひお越しください。お待ちしております。本日はありがとうございました。